

珠洲焼 創炎会展

— 特別展 —

珠洲焼復興を
地域再生の光に



参加陶工

阿知克弘	Achi Katsuhiro
岩城伸佳	Iwaki Nobuyoshi (陶経窯)
濤恵周	Oonami Eshu
小畑泰子	Obata Yasuko
折坂理恵	Orisaka Rie
鍛治ちえみ	Kaji Chiemi (ばあすこだ窯)
倉指まりか	Kurasashi Marika
黒谷良和	Kokutani Yoshikazu
小西栄一	Konishi Eiichi (二本松窯)
坂本一郎	Sakamoto Ichiro (伏見窯)
坂本良子	Sakamoto Yoshiko
鷺晃	Sagi Akira (はまなす窯)
篠原敬	Shinohara Takashi (遊戯窯)
芝雪	Shibayuki
清水武徳	Shimizu Takenori (たけのり陶房)
下谷礼次郎	Shimoya Reijiro (海望窯)
鈴木吉彦	Suzuki Yoshihiko (土幸窯)
高島和夫	Takabatake Kazuo (黒瀧窯)
高島久子	Takabatake Hisako (黒瀧窯)
田端和樹夫	Tabata Wakio (紀の川窯)
多間俊太郎	Dama Shuntaro
中島大河	Nakajima Taiga
中山達磨	Nakayama Tatsuma (飯塚窯)
西絵美	Nishi Emi
林春香	Hayashi Haruka
丸山忠次	Maruyama Tadatsugu
宮脇まゆみ	Miyawaki Mayumi (しこたろ窯)
山田正人	Yamada Masato
金丸聖	Kanemaru Sei (基礎研修課程研修生)

50音順

2024年1月1日、能登半島は震度7の大きな揺れに巻き込まれ、人々の営みは一瞬のうちに崩れ去ってしまいました。

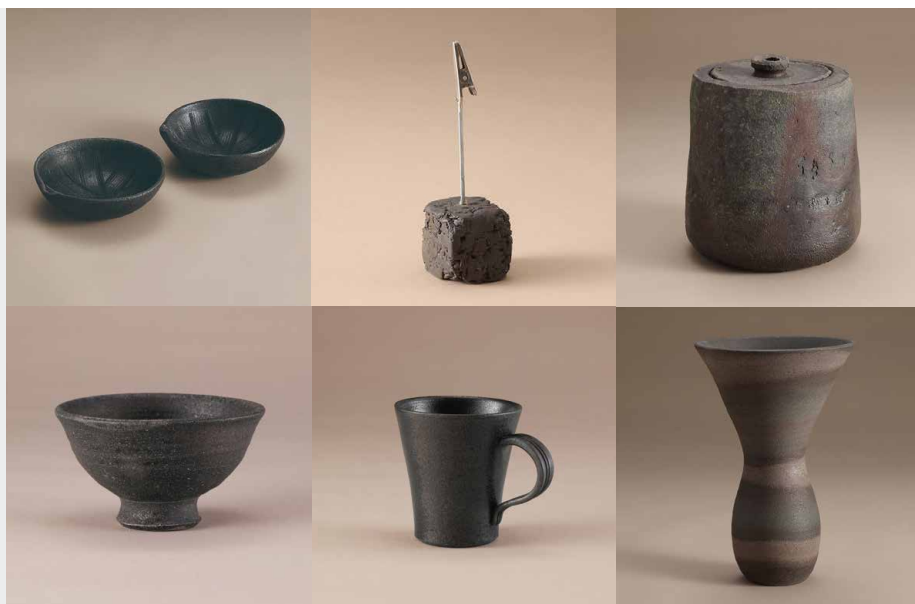
— 昨年から2度の震災を乗り越えてきた珠洲焼も例外ではありません。今回の被害は過去を大きく上回り、現在でも大半の窯元は作陶再開の見通しが立っていません。

そんな中、国内外から珠洲焼の復興を願う多くのメッセージが届いています。私たち珠洲焼創炎会は皆さまから寄せられた励ましを力に、諦めずに前へ進みます。

その初めの一步をしいのき迎賓館からスタートします。

陶工それぞれが被災を免れた作品を出品し、お求めいただいた収益を糧として復興へと歩み始めたいと思っています。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



珠洲焼

平安時代末期から室町時代後期にかけて約400年間、現在の珠洲市を中心に生産された中世日本海文化を代表する焼き物。1979年、約500年の眠りの時を越えて発祥の地に再興。かつての技法を受け継ぎ、強還元焰による灰黒色の無釉焼き締めを基本としながら、薪窯・灯油窯・ガス窯それぞれの特色を生かして伝統の上に現代の技を加え、多様な作品が作られている。

珠洲焼創炎会

珠洲焼の振興発展を目指して1988年に設立された陶工集団。歴史を古陶に学び、技法を次の世代へつなげ、珠洲焼の魅力を広く発信することを目的に石川県、珠洲市とも連携してさまざまな活動を行なっている。会員は38名(2024年1月1日現在)。

義援金振込口座

北國銀行珠洲支店(普)28551
能登半島地震義援金
珠洲焼創炎会

会場:しいのき迎賓館 ギャラリーA
(金沢市広坂2-2-1 TEL.076-261-1111)

